

五戸総合病院での研修生活を終えて

順天堂大学医学部附属浦安病院
研修医 2 年目 小池 英理子

順天堂大学医学部附属浦安病院の小池英理子と申します。この度は令和元年 7 月 1 日から 1 か月間五戸総合病院の外科・産婦人科で研修をさせて頂きました。

友人が八戸市に住んでいることもあり、青森に訪問するのは今回が 2 回目でした。そのため、青森県には親近感もあり地域実習で青森県五戸町を選ばさせて頂きました。なかなか訪れることのできない東北に 1 か月間も滞在することができるということで、この実習をととても楽しみにしていました。

五戸町は人口 2 万人いない町で、八戸駅からも車で 30 分かかるといことでどのような病院なのか不安もありましたが、とても立派な佇まいの病院で、多くの患者さんで溢れる待合室はとても活気があり、整った環境で実習させて頂いたことに感謝いたします。

病院で働かせていただいた第一印象はスタッフの方々、特に看護師の方々がとても明るく病院全体を元気にされていると思いました。限りあるスタッフの人数の中、ご家族の負担なども考慮し患者様一人一人に沿った医療を提供されており、勤務地域は関係なく大切なことを学ばせていただきました。

五戸総合病院では、帝王切開の執刀や妊婦検診、がん検診、お産の介助、外科の手術、往診など普段はできない経験をたくさんさせて頂きました。特に、手術に入らせていただいた際には糸結びの方法や縫合の方法など細かく指導していただきとても感謝しています。将来産婦人科になるにあたり、今回の研修で学んだことを忘れず生かしていきたいと思えます。

五戸町の医療を見ていて感じたことが、乳がんで皮膚まで浸潤して発見された方など、検診で発見することのできる“がん”が進行して発見されているということでした。五戸町は検診受診率が青森県の中でワーストに近いという話を伺いました。五戸町の方々の健康・ご長寿のために五戸総合病院で行われている検診に皆様に参加していただきたいと心から思います。

今回五戸町に行かせていただき、地域と根付いた病院や医療スタッフの姿を見てこれから力をつけて何らかの形で今後還元出来るよう、精進いたします。

安藤先生、小林先生、井戸川先生をはじめとする先生方、病院スタッフの皆様、五戸町の皆様にこのような貴重な機会を頂き感謝しております。ありがとうございました。